

河原の石ころを岩石標本に変えるには

岩石を鑑定します。このとき、わかりにくい岩石（でき方が読み取れないもの）は、切捨て、わかりやすいものを探すことを心がけましょう。

いきなり自分で鑑定することは難しいと思いますので、見本の標本と見比べて、似たものを探すと良いと思います。その際、歩き回って探すのではなく、手ごろな大きさの石ころが集まっている場所を探したら、腰を下ろしてしまうことをお勧めします。慣れていないと、動き回りながら岩石の特徴を見極めるのはとても難しいです。座ってしまっても手の届く範囲にたくさんの石ころがありますから、その中から良いもの（火成岩・堆積岩・変成岩としての特徴をよく示すもの）を選ぶようにすると良いでしょう。

梓川なら、花崗岩、輝石安山岩、角閃石安山岩（デイサイト）、斑岩、礫岩、砂岩、泥岩、チャート、ホルンフェルス（接触変成岩）を探してみると良いと思います。

鑑定できたら、マジックで岩石に標本番号を書き込みましょう。そして、ラベル用紙にも同じ番号を記入して、岩石名や特徴などを書き込みます。

標本ラベルには採取場所も書き込みます。採取位置がないと、標本としての価値が、がた落ちになりますので、忘れずに書きましょう。採取日と採取者も大切な情報ですので、これらも書いておくと良いでしょう。

河原にあるすべての種類の岩石を集めてみる(梓川の例)



集めた岩石を観察して代表的なものを選ぶ



集めた岩石を観察して代表的なものを選び、地質図との関係を確認



代表的な礫を標本箱につめて、河原での作業は終了。



河原の石ころの特徴を観察し、書籍や岩石標本を参考にして、
岩石名を決める。



標本ラベルをつくる（なるべく平易な表現で特徴を記述）

<p><u>あずさ 1</u></p> <p>石の名前 花崗閃緑岩</p> <p>石の区分 深成岩</p> <p>石のとくちょう 花崗岩の仲間 花崗岩に比べると黒い粒（黒雲母や角閃石）がやや多い。</p>	<p><u>あずさ 5</u></p> <p>石の名前 輝石安山岩</p> <p>石の区分 火山岩</p> <p>石のとくちょう 灰色が基本だが赤味を帯びることがある。大きい白い粒（斜長石）と小さい粒がまじる（繁盛組織の典型例）。黒い粒は輝石。</p>	<p><u>あずさ 9</u></p> <p>石の名前 溶結凝灰岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 白い粒（斜長石）がとても多いけど、よく見ると黒っぽい凸レンズの断面のような模様（溶結レンズ）が見える。</p>	<p><u>あずさ 13</u></p> <p>石の名前 礫岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 小石が集まってできている。</p>	<p><u>あずさ 17</u></p> <p>石の名前 石灰岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 表面が粉っぽい。淡い灰色～灰色。やわらかい感じがする。かけらになった石灰岩が再びくっついている。</p>
<p><u>あずさ 2</u></p> <p>石の名前 花崗岩</p> <p>石の区分 深成岩</p> <p>石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石（等粒状組織の岩石の典型例）</p>	<p><u>あずさ 6</u></p> <p>石の名前 角閃石安山岩</p> <p>石の区分 火山岩</p> <p>石のとくちょう 輝石安山岩に比べるとやや白い。黒い短冊状のよく光る鉱物が角閃石。白い粒は斜長石。泥サイトと呼ばれることもある。</p>	<p><u>あずさ 10</u></p> <p>石の名前 ホルンフェルス</p> <p>石の区分 接触変成岩</p> <p>石のとくちょう 一見、泥岩のように見えるけど斑点がある。</p>	<p><u>あずさ 14</u></p> <p>石の名前 砂岩を含む泥岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 砂岩の層（白っぽい部分）が変形している（一部ちぎれている）。</p>	<p><u>あずさ 18</u></p> <p>石の名前 チャート</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。赤っぽい。</p>
<p><u>あずさ 3</u></p> <p>石の名前 花崗岩</p> <p>石の区分 深成岩</p> <p>石のとくちょう 「あずさ 2」に比べると黒い粒（黒雲母）が少ない。</p>	<p><u>あずさ 7</u></p> <p>石の名前 閃緑斑岩</p> <p>石の区分 深成岩と火山岩の中間</p> <p>石のとくちょう 白い大きな結晶（斜長石）が目立つ。安山岩に比べ緑っぽい部分（石基）が粗い。</p>	<p><u>あずさ 11</u></p> <p>石の名前 泥岩（頁岩）</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 粒は見えない。つや消しブラック。泥が固まった岩石。</p>	<p><u>あずさ 15</u></p> <p>石の名前 緑色岩^{（海底に噴出した玄武岩などをもとにした岩石）}</p> <p>石の区分 変成岩</p> <p>石のとくちょう 緑色をしていることが多い。ずしりと重い感じがする。石灰岩のかけらを含むことがある。</p>	<p><u>あずさ 19</u></p> <p>石の名前 チャート</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。黒っぽい。</p>
<p><u>あずさ 4</u></p> <p>石の名前 アプライト質花崗岩</p> <p>石の区分 深成岩</p> <p>石のとくちょう 花崗岩の仲間 花崗岩に比べ黒い粒（黒雲母）が少ないので白っぽく、やや粒が細かい。</p>	<p><u>あずさ 8</u></p> <p>石の名前 凝灰岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう いろいろな種類（花崗岩やチャートなど）の角ばった石のかけらを含む。火山灰が固まった岩石。</p>	<p><u>あずさ 12</u></p> <p>石の名前 砂岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう よく見るとツブツブが見える。黒っぽい石（泥岩）のかけらが入ることもある。砂が固まった岩石。</p>	<p><u>あずさ 16</u></p> <p>石の名前 緑色岩^{（海底に噴出した玄武岩などをもとにした岩石）}</p> <p>石の区分 変成岩</p> <p>石のとくちょう 緑色をしていることが多い。ずしりと重い感じがする。</p>	<p><u>あずさ 20</u></p> <p>石の名前 チャート</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。白っぽい。</p>

岩石名を決定し、ラベルができたので、標本番号を貼る。



標本番号は、耐久性と剥がし易さを考えて、木工用ボンドを使って貼りました。



完成した梓川の石ころ標本（位置もラベルと対応させています）



標本が迷子にならないように、箱にも同じ番号を貼りました。

